

# 京都府で発生した近年の災害と災害復旧の取組みについて

京都府 建設交通部 砂防課 災害係

## 1. はじめに

### (1) 京都府の概要

日本列島のほぼ中央に位置する京都府は、4,613.0 km<sup>2</sup>の面積を有しています（図-1）。

これは、国土の1.2%で、47都道府県中31番目の大きさです。

北西—南東に長い京都府は、タツノオトシゴのような形をし、そのほぼ中央に位置する丹波山地を境にして、気候が日本海型と内陸型に分かれます。

北部は日本海に面し、変化に富むリアス式海岸が続き、小規模な平野が開けています。中部は大部分が山地ですが、亀岡・福知山盆地の他、桂川、由良川の支流に沿って小盆地や河岸段丘が発達しています。

南部は桂川・淀川（宇治川）・木津川の合流点を要に、山城盆地が扇状に広がっています。

## 2. 京都府における近年の災害

### (1) 近年の大規模災害の概要

京都府における平成以降の大規模災害は、公共土木施設で約330億円の被害が発生した平成16年台風

第23号をはじめ、平成23年～令和2年までの10カ年では6回の大規模災害が発生しました（表-1）。

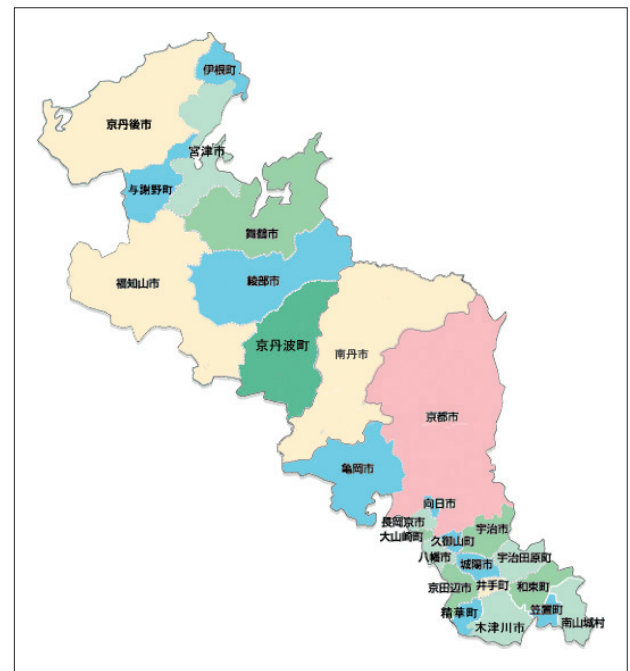


図-1

表-1

年	H24年	H25年	H26年	H29年	H29年	H30年
災害原因	京都府南部豪雨	台風第18号	8月豪雨	台風第18号	台風第21号	7月豪雨
月・日	8/13~18	9/15~16	8/15~17	9/17~18	10/21~23	7/5~8
総雨量	332mm	489mm	358mm	207mm	523mm	620mm
	城陽市	舞鶴市	綾部市	宮津市	綾部市	南丹市
被災特徴	天井川決壊	外水氾濫	内水氾濫	中小河川氾濫	内水氾濫	がけ崩れ
土木施設被害(※1)	156箇所 18億円	1,055箇所 94億円	484箇所 70億円	532箇所 46億円	403箇所 42億円	1,294箇所 131億円
(内京都府分)	69箇所 9億円	556箇所 72億円	270箇所 34億円	229箇所 28億円	195箇所 28億円	665箇所 87億円

(※1) 直轄管理施設・京都市管理施設、単独災害箇所を含まない。

(2) 復旧状況

平成30年までに発生した土木施設災害の復旧工事については、令和3年7月末時点で2箇所を除いて

完了しました。また、残る工事についても早期に完了させるため、復旧工事を急ピッチで進めているところです。

① 朝根川（綾部市古屋）

H29・台風21号 砂防堰堤損壊 L=250m



② 一級河川 鴨川（京都市中京区）

H30・7月豪雨 護岸欠壊 L=33.5m



③ 主要地方道 綾部大江宮津線（福知山市大江町）  
H30・7月豪雨 路肩侵食 L=138.7m



④ 主要地方道 京都日吉美山線（南丹市八木町）  
H30・7月豪雨 斜面崩壊 L=81.8m



3. 災害に備えて

(1) 土木施設災害復旧事業担当者会議

京都府では災害復旧事業に携わる府及び市町村職員の資質の向上と事業の適正な執行を図るため、「土木施設災害復旧事業担当者会議」を毎年開催しています。

各年度第1回目は実務経験の浅い職員を対象として、災害復旧事業の概要、基本的事項、留意事項等について、研修と意見交換を行っています。

更に災害発生件数が少ない年は、第2回目を開催し、設計変更における留意点等、より実践的な内容

としています。

昨年度と今年度第1回目は新型コロナウイルスの感染防止のため、資料送付とWEB形式としましたが、今年度の2回目以降は対面形式での開催を予定しています。

(2) 京都府市町村災害復旧サポーター派遣制度

近年の台風や集中豪雨等による甚大な災害が頻発している中、災害対応を迅速かつ確実に実施する必要があります。一方、全国の市町村と同様、府内市町村においても数名の技術者職員が災害復旧事業を

担っているところもあり、京都府や国への技術的支援を求める声が強くなっています。

このため、京都府と一般財団法人京都技術サポートセンター<sup>(※)</sup>では相互連携・協力し、府及び市町村の土木系技術職員OBの人材を活用した「京都市町村災害復旧サポーター」派遣制度を創設し、令和3年4月から運用を開始し、現在12名が登録されています。

災害復旧サポーターは、災害発生時に市町村からの派遣要請を受け、被災状況の調査や復旧工事の技術的なアドバイスなどをボランティアとして無償（派遣に要した交通費は市町村が負担）で活動し、市町村支援を行います。

(※) 京都府、京都府市長会及び京都府町村会が設立者となり、京都府及び府内の市町村における社会資本の計画的で効率的な維持管理、建設・整備と各種の技術支援、人材育成を目的に平成28年4月に設立された一般財団法人



写真-1 京都市町村災害復旧サポーター登録証交付式  
(知事からサポーター代表へユニフォームの授与)

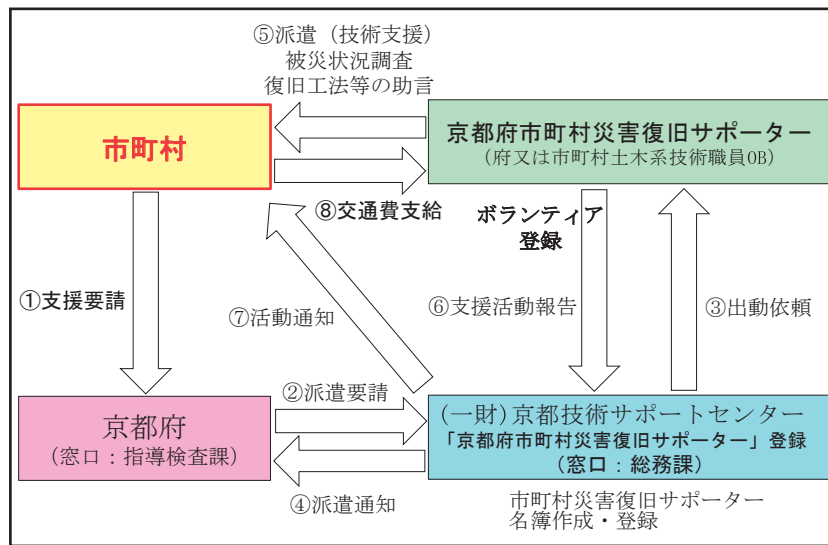


図-2 「京都市町村災害復旧サポーター」派遣制度の枠組み

(3) 二級河川吉野川河川等災害関連事業完了のPR

平成29年台風第18号の豪雨により被災した、二級河川吉野川（京丹後市）で進めてきた、河川等災害関連事業が完了したことから、地元の温泉施設（宇

川温泉よし野の里：京丹後市丹後町久僧）において、当時の被災状況や復旧工事の概要をパネル展示し、流域の治水安全度が向上したことを、広く周知する取組みを実施しました。

二級河川吉野川河川等災害関連事業について  
～平成29年「台風第18号」による豪雨～

平成29年9月の台風第18号による豪雨により、甚大な浸水被害が発生した二級河川吉野川(京丹後市)において、災害復旧事業と併せて河川等災害関連事業を進めてきましたが、令和3年3月末をもって完了しました。

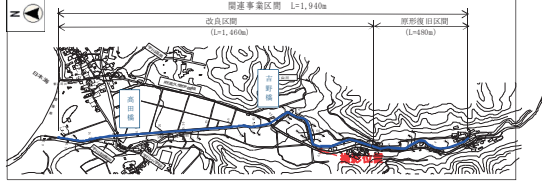
※ 再度災害防止を図るため、被害を受けていない区間を含めた一連区間を対象に、災害復旧費に災害関連費を加え、河道拡幅、築堤盛土等の改良工事を実施するもの。

1. 事業概要

事業主体：京都府(丹後土木事務所)  
河川名：二級河川 吉野川(京丹後市丹後町谷内地区)  
事業期間：平成29年度～令和2年度  
事業費：約5億円  
事業内容：延長 L=1,940m  
護岸工 A=7,700m<sup>2</sup>  
築堤盛土工 V=13,900m<sup>3</sup>



2. 計画平面図及び復旧状況



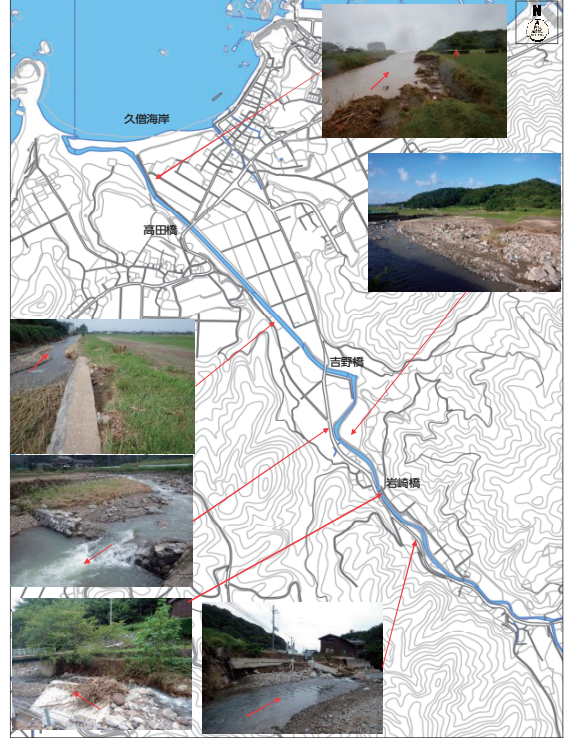
【被災時】



【完了】



被災時の写真(平成29年9月)



工事完成写真①(令和3年3月)



高田橋より下流付近



吉野橋より下流付近

工事完成写真②(令和3年3月)



落山川合流点より上流付近



岩崎橋より下流付近

#### 4. おわりに

迅速な復旧が実現できているのは、限られた時間の中で測量・設計業務、応急工事、本復旧工事を進めていただいた測量設計コンサルタント、工事受注者の皆様のご尽力の賜物であり、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

また、事前打合せから災害査定まで、多岐にわたるご指導とご協力を賜りました国土交通省、財務省の皆様におかれましても、この場をお借りしまして

厚く御礼申し上げます。

「土木施設災害復旧事業担当者会議」や「京都市町村災害復旧サポーター」等の取組みの継続、発展に加え、ICTの活用等による災害査定・復旧工事の効率化についても検討し、地域の安心・安全が一日でも早く確保できるよう努めてまいりたいと考えていますので、これからもご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

いのちとくらしをまもる 防災減災

## 静岡県熱海市で発生した土砂災害に対して 土砂災害専門家等 (TEC-FORCE 高度技術指導班) を派遣します

令和3年7月3日 水管理・国土保全局砂防部  
国土技術政策総合研究所

梅雨前線に伴う大雨によって、静岡県熱海市伊豆山で発生した土砂崩れに対して、静岡県の要請により、7月3日(土)に土砂災害専門家 (TEC-FORCE 高度技術指導班) を派遣します。

#### 1. 土砂災害専門家等 (TEC-FORCE 高度技術指導班)

国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部  
砂防研究室

室長 やま 山 こし 越 たか 隆 お 雄  
研究官 いずみ 泉 やま 山 ひろ 寛 あき 明

#### 2. 派遣日

令和3年7月3日(土)

#### 3. 派遣先

静岡県

#### その他

・天候等により、予定が変わる可能性があります。